

中学校日記

学校生活の1コマを学生の手作り(写真・文)でお届けします。

kiyama_chuugakkou

笑顔の花を咲かせ、
一人一人が輝く体育大会



きやまくん

燃えるような暑さの中、木山中学校体育大会が開催されました。

今年の体育大会テーマ「進花上笑～笑顔の花を咲かせ、一人一人が輝く体育大会」を実現するために、白団・赤団に分かれて一生懸命練習に取り組んできました。

当日は、一人一人がそれぞれの種目を精いっぱい頑張り、たくさんの花を咲かせることができました。

1年生から3年生までの絆が深まり、これからの木山中がさらに発展していくと確信できる、感動いっぱいの体育大会となりました。

私がお伝えします

木山中 体育委員長
まつおかせいじ
松岡成治さん(3年生)



#選手! 宣誓!
#綱引き オーエス! オーエス!
#大縄跳び 心を合わせて



にじいろ通信

地域おこし協力隊がピックアップした、復興やまちづくり、記憶の継承などさまざまなトピックをご紹介します。



報告: 吉海 雄大

■私たちになぜ歴史が必要なのか

今月は少しだけ背伸びして、深く物事を考える回にしたいと思います。建築家で被災地の復興デザインにも携わる内藤廣^{ないとうひろし}さんは、「50年前の思考に手を伸ばすことは、50年後を視野に入れることと同じだ」と著書の中で述べています。これはどのように解釈できるでしょうか。

未来を考えるためには、歴史が力を貸してくれるということ、私はそう解釈しています。

1970年代の益城町を振り返ると、熊本空港が現在の場所に開港し、広報ましき第1号が創刊され、町公民館の運営が始まる時期でした。50年前を振り返ることで、目の前の多くのものが違った角度で見えてきませんか。歴史は解釈する度に新鮮に見え、地域独自の価値観を支えます。益城が益城らしくあるため、歴史を学びましょう。



「教えてましきのコト! @にじいろ」 町の歴史をみんなで学ぶ!



とも旗祭り @ 能登町

ゴールデンウィークを活用し、災害ボランティアとして石川県能登半島に行ってきました。そこで地元の祭りを目にする機会があり、災害に負けず、歴史や文化が地域の暮らしを支える姿がたくましく、心を動かされました。

そのほか、いろんな活動を協力隊 Instagram で公開中!
(@MASHIKI_KYORYOKUTAI)
チェックしてみてください!

